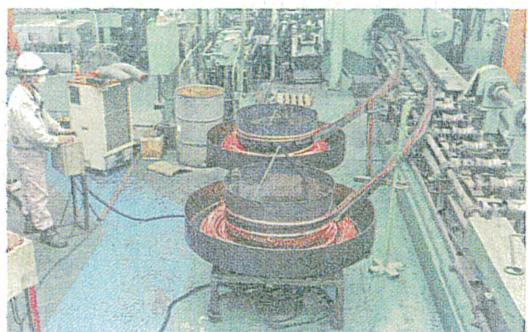


(第三種郵便物認可) 令和4年(2022年)2月2日(水曜日)

朝霞工場(埼玉県新座市)
に設置された完全自社製
作の巻取機2台



銅合金の鍛造品・押
出品などを手掛ける三
芳合金属工業(本社・埼
玉県三芳町、社長・萩
野源次郎氏)は、細物
を押出品を製造する朝
銅合金棒・線に用いる
巻取機を2台自社製作
し、押出品を製造する朝
銅合金棒・線の生産効
率は5割以上高まつた。
同社は溶接連分野に
向けてなどに細物銅合
金棒・線を製造してい
る。銅合金棒・線の巻取
機には既製品が少ない
ことから、これまで約
3年間をかけて完全自
社制作した。

大和合金 長尺品加工用NC旋盤 三芳工場(埼玉)に導入

銅合金の鍛造品や鋳
造品などを手掛ける大
和合金(本社・東京都板
橋区、社長・萩野源
次郎氏)は、三芳工場
(埼玉県三芳町)に長
尺品用のNC旋盤を導
入した。これまで長さ12
mまでの素材を切削
加工していたが、今後は
210mmまで可能となる。
長尺用NC旋盤は太径のパイ
プ形状

に導入した。熱間押出
加工後の中間製品を巻
き取るための設備。導
入に伴いこれまでの2
倍以上長い中間製品を
作ることから、細物
銅合金棒・線の生産効
率は5割以上高まつた。
同社は溶接連分野に
向けてなどに細物銅合
金棒・線を製造してい
る。銅合金棒・線の巻取
機には既製品が少ない
ことから、これまで約
3年間をかけて完全自
社制作した。

より大きい約150
kgのビレットを熱間

押出加工して、これまで
の2~3倍となる長
尺のコイルとして巻き
取れる。長尺化によっ
て次工程となる引抜加
工の前に溶接で接続す
る回数を減らせるた
め、生産効率が大幅に
高まる。加えて継ぎ目
が少なくなることか
ら、品質面でもメリッ
トが出る。



長さ約2mの素材を切削でき
る長尺品加工用のNC旋盤

だ。長尺品用NC旋盤
り、2月上旬から稼働
は1月に導入してお
する予定。

製品や丸棒などの加工
に使用する。昨年にはグル
ープ会社の三芳合金属工業で、
パイプ形状の太物材料
を製造する熱間穿孔機
を導入。長尺品用のNC
旋盤と熱間穿孔機を組み合
せた加工などで、注力領
域として位置付けている
航空機関連分野など
の顧客ニーズを捕捉し
たいと考え